

## ●韓国

### マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が4月27日に公表した2017年第1四半期の経済成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.9%（年率換算3.6%）で、前期の同0.5%を上回った。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.4%で前期の同0.3%から上昇した。固定資本形成は同4.0%で前期の同1.0%から上昇した。その内訳では

建設投資は同5.3%で前期の同▲1.2%からプラスに転じた。一方、設備投資は同4.3%で前期の同5.9%から低下している。外需である財・サービスの輸出は同1.9%で前期の同▲0.1%からプラスに転じている。

2017年第1四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で前期比1.3%となり、前期の同0.4%から上昇した。月次では季節調整値で、2017年2月に前月比▲0.3%、3月に同1.2%となっている。

2017年第1四半期の失業率は季節調整値で3.8%であった。月次では、2月4.0%、3月は3.7%となっている。

2017年第1四半期の貿易収支（IMF方式）は282億ドルの黒字、月次では2月には105億ドル、3月は98億ドルの黒字である。

2017年第1四半期の対ドル為替レートは1ドル=1153ウォン、月次では2月に同1143ウォン、3月に同1134ウォン、3月に同1134ウォンと推移している。

|                        | 2012年   | 2013年   | 2014年   | 2015年   | 2016年   | 16年<br>4-6月 | 7-9月    | 10-12月  | 17年<br>1-3月 | 2月     | 3月     | 4月    |
|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|-------------|---------|---------|-------------|--------|--------|-------|
| 実質国内総生産 (%)            | 2.3     | 3.0     | 3.3     | 2.6     | 2.7     | 0.9         | 0.5     | 0.5     | 0.9         | -      | -      | -     |
| 最終消費支出 (%)             | 2.2     | 2.2     | 2.0     | 2.4     | 2.8     | 0.7         | 0.7     | 0.3     | 0.4         | -      | -      | -     |
| 固定資本形成 (%)             | ▲0.5    | 4.2     | 3.1     | 3.8     | 5.3     | 2.6         | 1.5     | 1.0     | 4.0         | -      | -      | -     |
| 鉱工業生産指数 (%)            | 1.3     | 0.7     | 0.2     | ▲0.6    | 1.0     | 1.1         | 0.1     | 0.4     | 1.3         | ▲0.3   | 1.2    | -     |
| 失業率 (%)                | 3.2     | 3.1     | 3.5     | 3.6     | 3.7     | 3.7         | 3.8     | 3.6     | 3.8         | 4.0    | 3.7    | -     |
| 貿易収支<br>(百万 USドル)      | 49,406  | 82,781  | 88,885  | 122,269 | 120,446 | 33,534      | 28,268  | 29,689  | 28,160      | 10,545 | 9,801  | -     |
| 輸出 (百万 USドル)           | 603,509 | 618,157 | 613,021 | 542,881 | 511,776 | 128,243     | 127,558 | 137,658 | 139,121     | 44,630 | 50,384 | -     |
| 輸入 (百万 USドル)           | 554,103 | 535,376 | 524,135 | 420,612 | 391,330 | 94,709      | 99,290  | 107,969 | 110,961     | 34,085 | 40,583 | -     |
| 為替レート<br>(ウォン / USドル)  | 1,127   | 1,095   | 1,053   | 1,132   | 1,160   | 1,163       | 1,120   | 1,159   | 1,153       | 1,143  | 1,134  | 1,134 |
| 生産者物価 (%)              | 0.7     | ▲1.6    | ▲0.5    | ▲4.0    | ▲1.8    | ▲2.9        | ▲1.8    | 0.8     | 4.1         | 4.3    | 4.2    | -     |
| 消費者物価 (%)              | 2.2     | 1.3     | 1.3     | 0.7     | 1.0     | 0.8         | 0.7     | 1.5     | 2.1         | 1.9    | 2.2    | 1.9   |
| 株価指数<br>(1980.1.4:100) | 1,997   | 2,011   | 1,916   | 1,961   | 2,026   | 1,970       | 2,044   | 2,026   | 2,160       | 2,092  | 2,160  | 2,205 |

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準  
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格  
(出所) 韓国銀行、統計庁他

2017年第1四半期の消費者物価上昇率は前年同期比2.1%であった。月次では2月に前年同月比1.9%、3月に同2.2%、4月に同1.9%と推移している。2017年第1四半期の生産者物価上昇率は前年同期比4.1%となった。月次では2月に前年同月比4.3%、3月に同4.2%と推移している。

### 2017年及び2018年の経済展望

韓国銀行は4月13日に経済見通しを発表し、2017年の成長率を2.6%と予測した。これは2016年の実績2.7%を下回る値である。また2018年の成長率は2.9%としている。2017年の成長率については、年前

半が前年同期比2.6%、年後半が同2.7%としている。

2017年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.0%で2016年実績の2.5%を下回る。設備投資は26.3%で2016年実績の▲2.3%からプラスに転ずる。建設投資は4.5%で2016年実績の10.7%を大きく下回る。外需である輸出は3.3%で2016年実績の2.2%を上回るとしている。

2018年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.3%で2017年予測を下回る。設備投資は3.4%で2017年予測を下回る。建設投資は▲0.1%で

2017年予測を下回る。外需である輸出は3.5%で2017年予測を上回るとしている。

2017年の失業率については3.8%で、2016年の3.7%から悪化する。雇用者数の増加は28万人で前年の30万人から縮小すると見込んでいる。2018年については、失業率は3.7%、雇用者数の増加は30万人としている。

一方、2017年の消費者物価上昇率は1.9%で、2016年の1.0%から拡大すると予測している。2018年についても同じく1.9%としている。

ERINA 調査研究部主任研究員  
中島朋義